

あすかがわ

“あすかがわ”は地域の皆様に役立つ情報の発信を目指す広報誌です。

仕事子育て
サポート企業認定
子育てサポートをしています。



TAKEFREE
ご自由にお持ち帰りください

はじめまして
アスカルです

はじめまして!

TOPIX

- 知って得する医療ナビ 2
- 地域に選ばれる回復期を目指して ... 4
- 回復期STAFF VOICE 6
- さとうの救急箱 8
- 法人キャラクター紹介 10
- 乳腺外科が変わります 11
- 外来担当医一覧表 12

一人はみんなのために
みんなは一人のために

知って得する!
医療ナビ

あなたに合わせて リハビリテーション

当院には急性期治療後に集中的なリハビリテーションを行うための「回復期リハビリテーション病棟」があります。病床数は40床。当院の急性期からの患者さんを中心に、近隣・遠方の医療機関からも広く転院を受け入れています。

今回は、開設当初から病棟主治医を務める姜医師より、回復期リハビリテーションの特色についてご紹介いたします。

回復期リハビリテーション病棟医師
姜 正広

モットー One for all All for one

「住み慣れた場所」でリハビリを

当病棟は今年で開設14年目を迎えます。平成18年6月の開設当時、大分県内の病院で回復期リハビリテーション病棟が許可されているのは8施設でした。当院は大分県で9施設目、県北地区では最初の許可病棟としてスタートしました。

開設前は、地域にリハビリ専門病院が無く、多くの患者さんを地域外・遠方の専門病院へ紹介していました。しかし故郷を離れ、ご家族とも離れて長期間リハビリに専念することは、精神的にも物理的にも負担が大きく、当院での継続リハビリ相談や他医療機関からの転院相談がしばしば舞い込んでいました。その状況をどうにか打破したいと、「住み慣れた地域」でのリハビリテーション医療完結を目指し、職員一丸となって開設に漕ぎ着けたのが回復期リハビリテーション病棟でした。

回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管障害や骨折手術などの急性期治療後、病状が安定し始めた時期に集中してリハビリテーションを行う病棟です。病気で行えなくなった日常生活に必要な動作を練習して、寝たきりの防止と在宅復帰を進めることを目的としています。



チーム体制による リハビリテーション

当院では患者さんが入棟されると直ぐに専門職チーム(医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、介護福祉士など)が患者さん・ご家族と面談し、患者さんの状態把握や「現在の困りごと」、「リハビリで改善したいこと」などのご要望を聴取します。

医師は面談での診察所見や専門スタッフからの情報により、予測される今後の経過を患者さん・ご家族へ説明し、リハビリ目標を定めていきます。目標が決定すると医師の指示に応じて各専門職の知識を生かしたりリハビリ計画が立てられ、早速リハビリテーションが開始となります。



回復期では、医師もまたチームの一員としてリハビリテーションを支える立場となります。スタッフへ細かな指示も出しますが、内科的管理や障害を治療・緩和する投薬を行い、リハビリテーションが最大の効果を発揮できるように患者さんの心身の安定に努めます。もし万が一患者さんの状態が変化した場合、症状や容体に応じ必要な処置が受けられるよう、速やかに専門医と連携して診療にあたります。



あなたに合わせて…

病気の発症は多くの患者さんにとって想定外のことであり、回復期は障害に戸惑い焦燥感が募る時期と重なります。また患者さんごとに生活スタイルが違い、目指すゴールも異なります。ある患者さんにとっては、「白いご飯粒を口から食べる」ことが一番の望みであり、またあるご家族にとっては「日中の排泄動作の自立」が在宅復帰の要となります。様々な事由により当初の目標が達成困難なこともあります。その都度、患者さん・ご家族の想いをチームで共有し、軌道修正を繰り返していきます。



私たちは、患者さん・ご家族の数だけ支援の形があると考えています。個別に抱える問題をサポートするために互いの専門性を持ち寄り、望む形で退院していけるようチームでタッグを組むのです。そしてそのタッグは一人が勇んで足を踏み出しても、前に進むことはできません。専門医療スタッフの力、患者さん・ご家族の在宅復帰への希望を重ね、みんなで大きな一歩を踏み出すことに意味があり、この一歩を何より大切にしています。

「さあ、始めましょうか」

住み慣れた暮らしへ戻るためのリハビリ

テーション。患者さんにとってかけがえのない人生のひと時を、希望とともに過ごしていただけるように。今日も私たちは患者さんの声に耳を澄ませ、同じ方向へ足を踏み出します。



テーション病棟を目指しています

あなたに合わせて

当病棟では、“あきらめない”“持てる力の発揮”より良く生きる“をモットーに、「排泄」「認知症」「摂食嚥下」の3つの専門職チームが、ケアの質向上を目指して活動しています。

また療法士とのリハビリのみならず、看護師、介護士は24時間患者さんに寄り添いながら、「歩く」「座る」「食事を摂る」「トイレに行く」「お風呂に入る」などの生活動作そのものをリハビリと捉え、安心してリハビリを進められるよう支援します。

10年前に比べると、回復期リハビリテーション病棟の知名度も上がり、大分県北部の病床数も3倍に増えました。それぞれの医療機関が専門性や特色を提示する中、当病棟はリハビリに懸ける患者さん・ご家族の思いに寄り添い、多職種がONE TEAMとなつて個々の可能性を追求しています。



回復期リハビリテーション病棟
認定看護師
看護課長 赤田 美由紀

入院から退院までの流れ

入院時オリエンテーション
患者さん・ご家族と専門職チーム

どこまで良くなりたいか、患者さん・ご家族から退院後の生活について聴取。

リハビリ開始

のき下カンファレンス
専門職チーム

- 現状の身体状況の把握
- 入院前の生活状況の情報の共有
- リハビリ目標の共有

家屋調査

退院の際に必要な改修箇所や獲得すべき動作を把握する。

初回カンファレンス

患者さん・ご家族と専門職チーム

- リハビリ目標をご家族へ提示
- 患者さん・ご家族の希望の差異を話し合い、合意のもとで目標を共有

家族指導

退院後必要な介助動作をご家族へ指導。

総合カンファレンス

患者さん・ご家族と専門職チーム

- 目標の達成状況を報告
- 患者さんの状態に併せて退院に必要なサービスを調整

自宅練習

患者さんご本人の自信をつける。

試験外泊

夜間の状況をご家族に確認して頂く。

退院前カンファレンス

患者さん・ご家族と専門職チーム
在宅生活支援に関わるスタッフ

- 退院後に在宅生活で関わる関係スタッフへの情報提供
- ケアマネジャー・福祉業者・行政関係者など必要に応じて参加頂きます。

退院



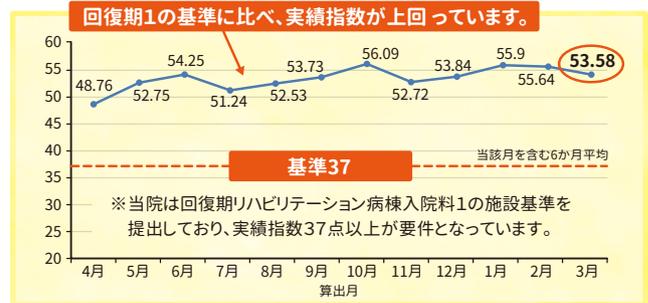
地域に選ばれる回復期リハビリ

あわてず、あきらめず…

当院回復期リハビリテーション病棟実績

① 実績指数 (2019年4月-2020年3月)

実績指数は、リハビリテーションの効果を測る目安の一つです。回復期リハビリテーション病棟から退院された患者さんの機能的自立度評価(FIM)が、**入棟時と比べどのくらい回復したか**を点数化し、そのために要した入棟期間を所定の計算式にあてはめて算出します。



② 在宅復帰率

退院患者全体のうち、“ご自宅”や特別養護老人ホーム等へ退院された方の割合。

94.8%
基準は70%

③ 入院時重症患者率

新規入院患者さんのうち、重症患者さんの割合です。

34.2%
基準は30%

④ 重症患者改善率

入院した重症患者さんのうち、退院時の生活機能評価が入院時に比べて4点以上改善した患者さんの割合です。

73.0%
基準は30%

重症患者さまを多く受け入れている中、重症患者改善率・在宅復帰率ともに、基準を上回っています。

※②・③・④は2019年10月～2020年3月の6ヵ月計算の数値です。

今後さらに患者さん、ご家族に満足して頂けるよう、各専門職が幅広い視野で研鑽に努め、地域の皆さんに選ばれる病院を目指していきたいと思えます。

多職種が専門的な視点を持ってチームアプローチを展開する中、療法士は、患者さんの運動・精神機能や言語・嚥下機能を評価し、最大限の機能回復や生活動作の再獲得を目指しています。

しかし、これからはチーム連携の推進と同時に、各職種がそれぞれの専門性をより高めていく必要性を感じています。近年では、患者さんの「日常生活動作の向上」が最終目標ではなく、住み慣れた地域で主体的な生活が送れるように、趣味や社会参加などの「その人らしさ」を見据えた支援や、医療と介護が連携して退院後の在宅生活を充実させることが重要だと言われています。



リハビリテーション部 病棟課 係長
回復期セラピストマネージャー
作業療法士 大戸 真

患者さんがリハビリに励み、
活力をいただいています。
患者さんに寄り添うことで、
いきたいと思います。

あたま (認知機能)



認知症・レクリエーションチーム

認知症は、適切な関わり方や服薬等の治療の選択が重要だと言われています。当病棟では、認知症を有している患者さんの言動・行動を評価して、一人一人に適切な支援が行えるように多職種でチーム活動を行っています。チーム内には、認知症ケア専門士1名、認知症高齢者の看護実践に必要な知識の認定資格者2名が在籍し、定期的な会議や勉強会を実施しています。活動は週1回のレクリエーションや夏祭り、運動会、クリスマス会といった季節に応じたイベントを企画し、患者さん同士が交流する機会となるように余暇活動を提供しています。



作業療法士
安藤 茜

排泄ケア



膀胱内尿量測定器「リリアむす」

CST(排泄ケア:コンチネンスケアチーム)

排泄ケアは人間の尊厳にかかわるケアであり、排泄トラブルは、加齢にともなって誰にでも起こる可能性があります。どんなトラブルが起きているのか、どう対応すれば良いかをチームで話しあい、介助方法を考慮して、一人一人にあったケアを行っています。例えば、尿意を感じにくい方の膀胱内の尿量を測定し、トイレ誘導で「排泄できた」という成功体験を重ね、「排泄を習慣化」する訓練も行います。全くトイレに行けなかった患者さんが、お一人でトイレに行けるようになった姿を見る度に、大きなやりがいを感じます。また入院中だけでなく、退院後の生活を見据えた家族指導を行っています。チーム内には排泄(コンチネンスケア)セミナー修了者初級3名、中級2名が在籍し、勉強会も定期的に行っています。



看護師
野尻 貞子

医療福祉 相談



社会資源の相談・調整、心理的サポート

病気などで生じた患者さんやご家族が抱く不安や退院後の生活について、患者さん、ご家族の想いに寄り添いながら、地域の社会資源や医療福祉制度の概要、申請方法を紹介するなど、多職種と連携しながら、支援しています。患者さんが笑顔で退院できる姿を思い描きながら、日々業務に取り組んでいます。いつでもご相談ください。



社会福祉士
藤懸 由美

回復期 STAFF

ご高齢の方や障がいを持たれた
「再起」される姿に感動や
あるべき姿を模索される
私たちが日々成長して



言語聴覚士
井口 加梨

＼ SST (摂食嚥下チーム) /

食事は、「生命をつなぐ役割と共に人としての欲求を満たす」重要な行為の1つです。摂食嚥下チームは患者さんの持つ食べる能力を十分に発揮して、栄養状態の改善やその人が望む「口から食べる」ことをサポートするチームです。運動と栄養は密接に関係しており、筋力・体力改善には栄養素の摂取が重要となります。その為、食欲低下や体重減少の患者さんを対象に看護師、管理栄養士、療法士と共同で毎週「サルコペニアカンファレンス」を開催し、栄養量や運動量の検討を行っています。また、嚥下障害のある患者さんに対して、医師の指示のもと評価を行いながら、食形態の調整や食事姿勢等にアプローチを行っています。

くち～
のど



特殊なマイクを喉元へ密着させ、
飲み込みの練習中



理学療法士
市場 達也

＼ 歩行能力・活動量向上への取り組み /

当院では、運動障害が重症な人を対象に、歩行能力が効率的に向上するようにHAL®(ロボットスーツ)を導入しています。ライセンスを取得したスタッフが同席し、1週間に2回の頻度でHALを用いた歩行練習を実施しています。HAL以外にもトレッドミルや免荷式歩行補助具、装具など様々な医療機器を使用し、患者さんの状態に合わせた歩行練習を提供しています。

あし



また、近年では身体機能の回復には運動量を増やすことが重要であることが明らかになっています。当病棟では、患者さんの運動量向上を目的に、個別介入とは別に集団起立運動を行っており、きつい運動でも楽しくできると好評の声を頂いています。

さとうの救急箱 Vol.6

今回のテーマ

春から夏に多い小児の感染症

今回は、暖かい季節から夏場にかけて多く見られる
小児の感染症についてお話しします。

小児科
山下文

専門領域(資格等)

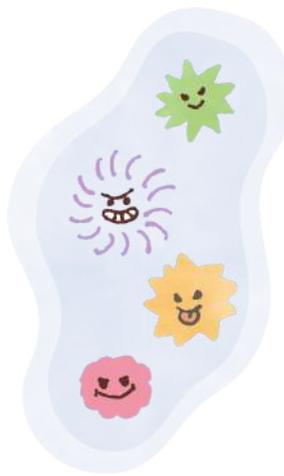
●日本小児科学会小児科専門医



こどもたちの健康を守るため
に、ご家族と協力していきたい
と思います。
よろしくお願ひ致します。

伝染性軟属腫(みずいぼ)

主に幼小児によくみられ、かきこわすと
内容物が近くの皮ふにつき広がっていきま
す。
放置しても自然に治ることもありますが、
集団生活での接触感染の恐れや、皮膚疾
患(アトピー性皮膚炎など)のある方では
悪化しやすく、摘除することが多いです。



伝染性膿痂疹(とびひ)

虫刺されなどの軽い傷からの細菌感染に
よるものです。主な原因菌は黄色ブドウ
球菌、A群溶連菌で、夏場には黄色ブドウ球
菌の毒素による水ぶくれタイプが多くみ
られます。

細菌による感染症なので、抗生物質が有効
です。



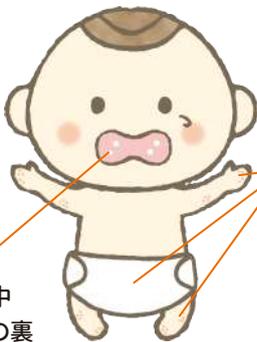
汗疹(あせも)

一気に大量の汗をかいたり、通気性の悪い
状態があると、汗を出す管がつまり、あせも
ができます。汗の分びつを抑え、通気性を保
てば自然におさまりますが、かゆみや炎症
が起きている場合には飲み薬・塗り薬ともに
処方されることがあります。

手足口病

口内・手のひら・足のうらに水ほうを生じ
ます。おしりやひざまで水ほうがでたり、
つめがはがれることもあります。ウイルスは
水ほうの中身・だ液・鼻水のほか、便の中にも
長期間排せつされます。特效薬はなく自然
治癒します。

手足口病



水疱

- 口の中
- ほおの裏

発疹

- ひじ
- おしり
- 手のひら
- ひざ
- 足の裏

ヘルパンギーナ

口の中に水ぼうがができ、発熱をとまな
います。水ぼうの中身・だ液のほか、便の
中にもウイルスが排せつされます。特效薬
はありませんが、水分補給を行うことが
大事です。



咽頭結膜熱（プール熱）

アデノウイルスによる感染症で、のどの
痛み・目の充血・高熱が主な症状です。咳
やくしゃみによる感染、あるいは接触感染
がおこります。特效薬はなく、各症状に
じた対応となります。塩素による消毒が
有効です。



ヒトメタニューモ ウイルス感染症

ヒトメタニューモウイルスは、軽い風邪
症状のほか、重症化すると気管支炎や肺炎
をおこします。特效薬はなく、咳や鼻みず
などについて対症療法を行います。1回の
感染では十分な免疫を得られず、数回感染
するといわれています。6歳未満のお子さん
で肺炎が疑わしい場合には、迅速検査を
保険適応で行えます。

これらの病気は秋や冬になっても、とく
に保育所や幼稚園などで小規模な流行を
起こすことがあります。

どんな感染症も同じですが、手洗い・う
がいなど、お子さんの年齢に応じて、できる
ことを行い、成長に応じて習慣にしていこう
ことが望ましいです。



輪ゴムを指に通して

こうさくのじかん

いろーんな顔の「おもしろヨーヨー」を作ろう！

材料



- 水風船
- 輪ゴム
- ビニルテープ
- 油性マジック

びよーん

ゴムが伸びると
変顔になって
面白いよ！

できあがり！

3 輪ゴムを水風船の結び口にくくりつける。
(風船の結び口を持ってあげると、ゴムが
かけやすいです)



2 水風船を作って
テープを貼り、
顔を描く。※注



1 ビニルテープを
カットして目や口
を作る。



※注 水風船はとても割れやすいので、水濡れにご注意下さい。
直径5センチくらいの大きさ目安に作るとうれしいです。

医療法人 明徳会キャラクター

アスカルです

明徳会のスタッフが 患者さんの回復を願っていたら
優しくお世話好きの ツツジの妖精が生まれました。
妖精の名前は「アスカル」です。

職員の心の中から生まれてきたので 患者さんのために 自分のできることがないか
いつも考えていて ポスターや広報誌 病院ホームページなどいろんな所に現れます。

患者さんと当院をつなぐ 架け橋としてがんばる予定です。
どうぞ 末永く可愛がって下さいますようお願いいたします。

はじめまして!
アスカルです!



アスカル
プロフィール



早くみんなと
仲良くなりたいな〜!

受付前にいるよ!



アスカルってなあに?

花の妖精です。

ふわふわ飛べるよ!



住んでいる所はどこ?

宇佐市

誕生日はいつ?

3月10日

さとうの日なの



名前の由来は?

アスカルはスペイン語で
砂糖の意味があります。

どんな性格?

ほがらかで心優しく
お世話好き。

困っている人を助けたいの



特技はあるの?

アスカル体操、
整理整頓、おまじない

好きなことは?

音楽と踊りと人が好き!

みんなと踊りたいな〜



趣味ってなあに?

病院内パトロール
散歩、カメラ

モットーは?

誰とでも仲良くなって
笑顔と元気を運ぶ!

4月

から

乳腺外科の

診療体制が変わります

第1・第3 土曜日 午前外来スタート

4月より、前任の広瀬医師に変わり、武内医師（大分大学医学部付属病院）による外来診療を開始致しました。

従来どおり、乳房に係わる様々な症状に対する診察、検診で要精査となった方の診察・診断、乳がん術後の方の経過観察、無料乳がん検診等に幅広く対応致します。



担当医師紹介

乳腺外科医師 武内 秀也

大分大学医学部付属病院
呼吸器・乳腺外科学講座 診療准教授

〈専門医資格〉

- ・日本乳腺学会専門医、指導医
- ・がん治療認定医、暫定教育医
- ・検診マンモグラフィー読影認定医A判定 等

患者さまへメッセージ 患者さんに安全で質の高い医療を提供できるよう努めて参ります。

胸の違和感、ご相談ください！

胸にしこりがあるような気がする

胸に痛みを感じる

妊娠中、授乳中で胸に気になる症状がある



乳頭から分泌物が出る

乳がん検診で精密検査が必要と言われた

以前、良性腫瘍があるといわれたがしばらく検査を受けていない

受付／午前10:30まで(当日受診可能、事前予約可能)※

※待ち時間を短縮されたい方は **事前予約** がお勧めです。



マンモグラフィーは専門機関より認定を受けた放射線技師2名で担当しています。

外来担当医一覧表

～令和2年4月16日現在の外来体制です～

●午前受付時間11:00まで <ご注意>お電話での受付は行っておりません。

診療科目	曜日	月	火	水	木	金
内科(1診)		藤井 郁夫	藤井 郁夫	藤井 郁夫	—	藤井 郁夫
内科(2診)		姜 正広	姜 正広	姜 正広	姜 正広	島本 大
内科(3診)		吉田加奈子	吉田加奈子	—	吉田加奈子	—
内科(4診)		手島 進	—	手島 進	手島 進	手島 進
総合診療科		—	三宅 純	—	三宅 純	—
消化器外科・肛門科		—	(大分大学)	宮崎 信彦	—	宮崎 信彦
脳神経外科		中原 成浩	豊田 啓介	中原 成浩	中原 成浩	釘崎 愛理
整形外科		西里 徳重	西里 徳重	—	西里 徳重	—

午前

診療科目	曜日	月	火	水	木	金
神経内科		—	—	—	—	西江 信
膠原病外来		—	—	新貝祐太(大分大学)	—	尾崎貴士(大分大学)
放射線診断科		佐藤 仁一	佐藤仁一/島本 大	佐藤仁一/島本 大	佐藤 仁一	佐藤 仁一
慢性疼痛外来		—	—	—	秋山 拓也	—
神経内科		—	—	秋山 拓也	—	—

午前
専門外来
完全予約制

※予約のない方は受付していませんのでご注意ください。受診を希望される方は、受付窓口にご相談下さい。

●午後受付時間 13:30～16:30まで <ご注意>お電話での受付は行っておりません。

時間	曜日	月	火	水	木	金
内科		—	手島 進	—	—	—
総合診療科		三宅 純	—	三宅 純	—	三宅 純

午後

診療科目	曜日	月	火	水	木	金
内科	糖尿病外来	—	—	—	藤井 郁夫	尾関良則(大分大学)
	生活習慣病外来	—	—	千葉政一(大分大学)	—	—
	肝臓内科	—	—	本田浩一(大分大学)	—	—
	神経内科	秋山 拓也	—	—	—	西江 信
膠原病外来		—	—	—	—	尾崎貴士(大分大学)
脳神経外科		釘崎 愛理	中原 成浩	(大分大学)	中原 成浩	豊田 啓介
整形外科		西里 徳重	—	—	西里 徳重	—
慢性疼痛外来		—	秋山 拓也	—	—	—
消化器外科・肛門科		宮崎 信彦	—	—	—	—
放射線診断科		佐藤仁一/島本 大	佐藤仁一/島本 大	佐藤 仁一	佐藤仁一/島本 大	佐藤仁一/島本 大

午後
専門外来
完全予約制

※予約のない方は受付していませんのでご注意ください。専門外来はすべて予約制です。受診を希望される方は、受付窓口にご相談下さい。

内視鏡
担当医

時間	曜日	月	火	水	木	金
午前		島本 大	(大分大学)	吉田加奈子	島本 大	(大分大学)
午後		姜 正広	(大分大学)	島本 大	吉田加奈子	(大分大学)

乳腺外科

第1・3土曜午前 武内 秀也 受付時間/午前10:30まで(当日受診可能、事前予約も可能です。)

※4月15日を以て消化器外科・乳腺外科・広瀬医師の診療は終了しました。

特定医療法人 明徳会 佐藤第一病院

〒879-0454 大分県宇佐市大字法鏡寺77-1
TEL 0978-32-2110 / FAX 0978-33-4918
https://www.sato-d1.com
E-mail: meitokukai@sato-d1.com



企画
発行

リハビリテーションに
ついてのご案内

●午前受付時間 11:30まで
●午後は予約制

医療機関の皆様へ

ご紹介・受診についてのご相談は、**地域医療連携室**
へご連絡下さい。上記受付時間外(予約制外来含む)
の受診相談も対応しております。

直通

TEL 0978-34-9322
FAX 0978-34-9323

窓口対応時間 平日/8:30～17:30

理念

特定医療法人 明徳会 佐藤第一病院は、
1.患者さまの尊厳を守り、地域に密着した
質の高い医療を目指します。
1.たえず医療水準の向上に努め、チーム
医療を推進します。

運営方針

- わたしたちは、専門スタッフがそれぞれの役割を分担し、患者さまを中心にしたチーム医療を行います。
- わたしたちは、患者さまご家族との信頼関係を大切にし、満足して頂けるように人格形成をはじめ、知識、技術の向上に努めます。
- わたしたちは、病院職員としての誇りと責任を持って、他の医療機関、施設との連携をすすめます。
- わたしたちは、よりよい医療を提供するために、相互啓発し魅力ある職場づくりを目指します。

患者さまの権利

わたしたちは、患者さまの以下の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

- 良質かつ適切な医療を公正に受ける権利をもっています。
- 医師・病院を自由に選択し、他の医師の意見を求める権利をもっています。
- 十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択する権利をもっています。
- 人格や価値観が尊重され、人としての尊厳が守られる権利を持っています。
- 意識がないか判断能力を欠く場合や未成年者の場合、代行者に決定を委ねる権利をもっています。
- 自分の診療記録の情報を受ける権利をもっています。
- 個人情報の秘密が守られる権利を持っています。

患者さまの責務

当院理念「患者さま中心のチーム医療」を進めるうえで、大切な役割を自覚して頂くために、患者さま自身に求められる以下の責務をご理解下さるようお願い致します。

- 正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を充分理解する責務。
- 医療に積極的に取り組む責務。
- 快適な医療環境づくりに協力する責務。
- 社会的ルールを守る責務。